

第2回 不均一および過渡的な電磁界による体内誘導量評価技術調査専門委員会 議事録

日 時：平成 18 年 11 月 22 日（水）10:30～12:30

場 所：情報通信研究機構

出席者：藤原 修委員長（名工大）、池畑政輝（鉄道総研）、上村佳嗣（宇都宮大）、宅間 董（電中研/東京電機大）、林 則行（九大）、野田 臣光（東芝家電）、横田 康（中部電力）各委員、渡邊聡一代理委員（NICT:和氣委員）、平田 晃正（名工大）、山崎 健一（電中研）各幹事、鈴木 敬久幹事補佐（首都大）

オブザーバー：田中照也（東芝家電）、酒井泰二（NICT）

提出資料：

2 - 1 第 1 回議事録（案）	平田幹事
2 - 2 本調査専門委員会委員名簿	平田幹事
2 - 3 電磁環境技術委員会議事録（案）	藤原委員長
2 - 4 「電磁界による体内誘導電界・電流の計算」講習会	山崎幹事

議事要旨：

1 委員名簿の確認

委員が自己紹介を行うとともに、名簿の確認がおこなわれた。修正などがある場合には平田幹事まで連絡のこと。また、これを基にメーリングリストの立ち上げを行う予定である。

2 議事録（案）の確認

平田幹事より、議事録（案）が朗読された。出席者に渡邊代理委員を追加した後、承認され。林委員より3項(ii)の内容について「定常磁界であるものの、人体が動くと誘導電流が流れ、人体から見ると過渡現象となるものを含むか」との質問があり、藤原委員長より「含む」との回答があった。

3 電磁環境技術委員会議事録（案）の紹介

藤原委員長より、電磁環境技術委員会議事録（案）が朗読され、関連分野の動向が紹介された。朗読された。委員が自己紹介を行うとともに、名簿の確認がおこなわれた。修正などがある場合には平田幹事まで連絡のこと。また、これを基にメーリングリストの立ち上げを行う予定である。

4 「電磁界による体内誘導電界・電流の計算」講習会

山崎幹事より、前調査専門委員会の講習会についての案が提出された。4月中旬開催予定としており、今後、講演者の予定を伺った上で確定する予定である。

5 話題提供

野田委員より、IH 調理器からの磁界およびリーク電流の測定例を中心に国内外の規格との対比について紹介があった。また接触電流に関して電案法限度値、ICNIRP ガイドライン、接触電流閾値の関係性に関して詳しい説明があった。これに対し、リーク電流の測定法や接触電流の評価についての質問などがあった。また、半径64cmの円板を ICNIRP の誘導電流換算モデルとみなすことは不相当との指摘があった。

6 その他

次回は2007年3月を目処に開催を予定し、調整後、E-mail等にて連絡を行う。

以上